

## 令和元年度 第16回アンケートの「集計結果の活用状況」

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどう活用しているのかなど、アンケートの「集計結果の活用状況」をご紹介します。



### 農畜産物の地産地消に関するアンケート(令和2年3月実施)

担当 環境創造局 農業振興課

#### アンケートの回答を事業に反映した事例、又は反映する予定

「横浜農場」をご存じだった方は、広報紙等の紙媒体や店頭で掲出されているのぼり等を通じて知ったという方が多かった一方で、横浜市内産の野菜等を提供している飲食店や収穫体験ができる施設に関する情報については、約4割の方がSNSやWEB等のインターネット媒体で入手しているという回答でした。アンケートの結果を鑑み、「横浜農場」の認知度向上に向け、インターネット媒体で目に触れる機会を増やしていくために、令和2年6月から「横浜農場」の公式Instagramアカウントを開設し、市内で展開されている「農」の魅力についてSNSを通じて発信しました。

#### アンケートを実施しての感想

Q1やQ2において、「地産地消」という言葉や横浜市内で農畜産物が生産されていることを知っている方の割合がともに90%を上回っており、横浜における農業について、多くの方に認知されていることを改めて知ることができました。一方Q3において、横浜の農の風景や意欲的な人々を含む農の魅力を一時的にPRしていくためのロゴマークである「横浜農場」を知らない方の割合が約75%とまだまだ定着していない現状が明らかとなりました。

今後は広報紙等の紙媒体に加え、SNSやWEB等のインターネット媒体でも積極的に「横浜農場」のPRを行い、市民の皆様の目に触れる機会を創出していくことを検討していきます。

#### 担当部署から登録メンバー様へのメッセージ

様々なご意見をいただき、事業への取り組み方法等の検討に際し、大変参考となりました。地産地消が多くの方々に浸透していることをうれしく思うとともに、「横浜農場」の認知度向上を目指し、今後様々な場面でご覧いただけるよう、より効果的な情報発信の方法を検討していきたいと考えています。

横浜産の農畜産物を提供している飲食店である地産地消サポート店のご紹介や果物や花の直売マップを作成するなど、市民の皆様に地産地消についてお楽しみいただける情報をHPで公開しています。ぜひ市内で生産された農畜産物をお楽しみいただき、地産地消の魅力を感じていただければと思います。

【公開先 URL：地産地消の取組「買う・味わう」】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/nochi/kauaji/>

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。